

# 佐々町立佐々中学校 学校だより

## 「ときめき」

第16号 令和3年10月13日(水) 文責 校長 井上博之

### ○ 通学路の安全点検

9月15日(水)に教育委員会、建設課、総務課、各小中学校長、PTA、江迎警察署、県北振興局道路維持課、交通安全母の会等の担当者が集まり、佐々町通学路安全推進会議と通学路安全点検(現地視察)を行いました。校区内の危険個所の確認や、道路施設等の改修の要望や意見交換が行われました。

本校では、4月の自転車点検と交通指導、5月には自転車通学の生徒を集めて事故防止のための注意指導、さらに9月29日(水)には、生徒指導担当より全生徒に、自転車事故のリスクが高い具体的な状況と事故防止に必要な行動、交通規則等について指導しています。これから朝夕が暗くなりますので、徒歩も自転車も、登下校時はゆとりを持ち、安全第一を心がけて通学してください。



### ○ タブレット PC の活用～台風接近による臨時休校に伴う遠隔授業(試行)



9月17日(金)は、台風の接近により前日から臨時休校措置が決まりました。この機会に、3年生徒にタブレットPCを家庭に持ち帰らせ、17日の朝から学校職員のPCとつないで遠隔授業ができるか試行を行いました。今後の臨時休校時の学力保障、家庭学習での利用、その他の有効活用を検討するため、前回のネット接続テストに引き続き、双方向通信による授業の試みでした。朝9時からの各学級での学活に続き、社会と英語の授業(短縮版)をオンラインで実施しました。実際の運用には、配慮すべき課題や問題点、必要な事前準備や指導等が必要であることがわかりました。今後の臨時休校がないことを願っていますが、これからの個別最適化された学習環境の実現に向け、有効活用の方法を検討していきたいと思えます。

### ○ 第43回「少年の主張長崎県大会」

6月26日(土)の「少年の主張 佐々大会」(学校だより第9号(7/9)で紹介)で最優秀賞、優秀賞だった2人の発表原稿は、同県大会に推薦されました。その後、県大会は感染症対策のため発表動画の送付による審査となり、次のような結果となりました。

- ・優秀賞(長崎新聞社賞) 芦塚陽菜「明日の保障」
- ・努力賞 種田真愛「螺旋階段のように」 文化面での素晴らしい活躍です!!

## ○ 佐世保市中学校体育大会 駅伝競技が行われました

10月5日（火）、佐世保市総合グランド陸上競技場及び周回コースにて令和3年度佐世保市中学校体育大会駅伝競技が実施されました。出場選手は次のとおりです。

- 【男子】 1区：山崎芽來（4km） 2区：森田昂洋（3km） 3区：廣永涼翼（3km）  
4区：横田翔栄（3km） 5区：濱田遼太郎（3km） 6区：中原琢翔（4km）  
【女子】 1区：石崎姫乃（3km） 2区：原田希唯（2km） 3区：牟田望美（2km）  
4区：芦塚陽菜（2km） 5区：池優月（3km）



大会当日は、雲一つなく、強い日差しと、気温30℃を超える厳しいコンディションでの大会となりました。

男子の累計タイムは68分30秒で7位、女子の累計タイムは47分01秒で8位という立派な結果でした。コロナ禍で十分な練習や試走（1回のみ実施）ができない状況の中で、工夫と努力を重ね、今回の結果を出すことができました。どの選手も自分の力を全力で出し切り、粘り強く力強く走り、タスキをつないで頑張りました。選手団として参加した他の生徒も、選手が競技に集中し、安心して力が発揮できるよう、心からの応援と選手のサポートに力を尽くしました。

今年度は、午後の男子の部で、最終区までの間に各チームの差が大きく広がりました。しかし、ゴール地点の陸上競技場では、最後のチームのアンカーがゴールする姿を、スタンドの全チームが見届け、努力をたたえ、自然に温かい拍手と応援（声援）を送る姿が見られ、感動を覚えました。競技であるため、タイムを計測し、順位（勝敗）が決まります。しかし、順位以上に、各チームがそれぞれの環境や条件の中で一生懸命に取り組み、1つの目標に向かって努力すること。その努力をお互いに認め、称えあい、喜びを共有することを、全ての出場校の選手が大切にしていることがわかりました。

大会終了後に各先生方からの一言があり、男子・女子それぞれのリーダーがみんなに想いを伝えていました。今回の大会に向けた生徒の取組や、学んだこと、感動したことなどを多くの生徒に伝え、共有してほしいと思います。